

## 集会案内

### 日曜日

礼拝：1:45pm-2:45pm

### 教会住所

c/o Grace Hills Church  
24521 Moulton Pkwy  
Aliso Viejo, CA 92637  
中庭の小さいチャペル

### 地図



### ホームページ

[www.irvinihongokuyokai.org](http://www.irvinihongokuyokai.org)

### 榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

### 杉村宰牧師

電話(714)234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「溝口厚子」

三月十二日、溝口俊治先生がアーバイン教会の礼拝に來られ、メッセージを取り次いで下さった。『栄光への望み』というタイトルで、コロサイ書一章27節「神は彼らに、異邦人の受くべきこの奥義が、いかに栄光に富んだものであるかを、知らせようとされたのである。この奥義は、あなたがたのうちにいますキリストであり、栄光の望みである」からの講義であった。先生が厚子夫人と礼拝に來られたのは、昨年九月のことであり、二ヶ月後の十一月十一日に、厚子夫人は肝臓がんで天に凱旋していった。七十四年の満ち足りた生涯であった。

彼女は、「神様を信じていたら大丈夫！」という信仰に生きた人であった。二〇一六年七月には脳内出血で倒れ、その際、医師から「手術で生きて帰るか、死んで帰るか、50%です」と言われたが、何と三ヶ月後の十月には日本への伝道旅行ができるまでに回復したのだった。今回も多くの方々から、「あの時と同じように神の癒しを期待しています」という励ましを受けていた。しかし、今回は神様が彼女を御元に引き上げられたのである。果たして今回、神のご栄光は表されなかったのだろうか？ 否、神は癒しを通しては栄光を表されなかったが、神様は彼女の最期を通して栄光を表して下さった。救急車で病院に搬送される直前、彼女は激痛の中「神様ありがとう！ 皆さんありがとう！」と叫んだのだった。死を目前にした中で神様に感謝ができるというのは、それこそ神の業である。もっとも暗い死の直前にも、神の栄光は輝いていたと言えよう。

この栄光とは、信じる私たちの内にいますキリストであり、それが私たちの望みだと聖書は宣言する。二〇二二年十月、先生ご夫妻はラスベガス教会の創立二十周年記念礼拝に呼ばれた。それが二人で一緒に出かける最後で、召される一ヶ月前のことであった。彼女はすでに激しい痛みが始まっていて、とても長時間ドライブに耐えられる状態ではなかったが、「信じて行く！」と言う。

夫人の内にいますキリストからの迸る励ましが、肉体の痛みを乗り越えさせ、またキリストに信頼して祈って委ねたことが彼女の信仰であり、そこにキリストの栄光が光輝いていた。溝口牧師は言った。「ラスベガスの皆さんの内に輝く主の栄光は、不夜城のラスベガスの輝きよりも、もっとも光り輝いている」と！

Rev. Tsukasa Sugimura

### 【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

### 【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。